

## 「第 11 回東区緩和医療を考える会」 報告

第 11 回は平成 28 年 7 月 6 日（水）18 時半より、福岡和白病院 2 階大会議室にて行なわれました。参加者は 124 名。

演題 1 「大腸がん、腸管閉塞時の治療方針」（福岡和白病院 化学療法センター長 柴田義宏先生）では、大腸ステントの症例提示がありました。

演題 2 「転移性骨腫瘍の疼痛緩和に対する治療の工夫」（福岡和白病院 総合診療科部長 馬場健吉先生）では、放射線治療、アイソトープ治療の紹介がありました。

演題 3 「在宅緩和医療に繋げた事例を通して紹介したい多職種役割」（あおばクリニック 伊藤大樹先生、福岡和白病院看護師・リハビリ・MSW）では、病院入院中からの多職種の介入が在宅移行にうまく連動している事例の紹介を通じて、これからの可能性が呈示されました。

次回は、平成 29 年 1 月、九大病院で行なう予定が報告されました。

記 世話人 山下和海